

# 三原市立第五中学校第1学年 美術科学習指導案

## 題材名：木版画作品を作る

指導者：三原市立第五中学校 行広 忠明

- 1 日 時 : 平成26年9月25日(木) 第5校時
- 2 場 所 : 美術教室
- 3 学年・学級 : 第1学年3組(男子17名 女子16名 計33名)
- 4 題 材 名 : 木版画作品を作る

### (1) 題 材 観

本題材は学習指導要領の内容の「A表現(1)感じ取ったことや考えたこと」を受け設定した。本題材では、版画の表現方法について知識を広め、木版画について学習する。電気機器の発達、普及により手軽に印刷物を個人で作ることができるようになり、過去に一般的な表現方法であった凸版印刷は、より特徴が発露されることとなる。木版一版単色刷りでの表現において、彫りによる形の面白さや、白黒での明暗の効果を意識させ、そのために必要な視点や方法を習得し、実際に活用する力を身に付ける。

### (2) 生 徒 観

本学級の生徒は、1学期の着彩での表現活動を通して、筆に馴染むこと、色彩、明暗の調子に気づくことを学んだが、色彩においては、純色の組合せのみに頼り、よって明暗の対比までには思いが至らない傾向が強い。授業を静かに集中して受けることができ、丁寧な作業姿勢で取り組むことができる。

### (3) 指 導 観 (指導改善のポイント)

指導にあたっては、対象を深く見極めて本質をとらえる事が十分でない実態から、作品中に生徒の直接的な体験を想起させ、取り入れることを考えさせる。斬新な発想より作品が作られることも考えられるが、テーマに関連する資料をもとに、画面作りを考えることも必要であり、テーマに関連しそうな資料を日頃いかに気にかけて、集めておけるかという部分が作品の精度に大きく影響する事となる。そのことがまた、各自の美的な環境作りの意識付けになる事と考える。さまざまな明暗表現や、形の意識をさせることにより、立体をとらえる力を高めたい。墨入れを学習することで、線の密度による表現方法を理解し、木版画の面と線の組み合わせによる明暗表現に利用できると考える。木版画の彫りによって、材料の性質や、表現効果などを理解して工夫するなど形を意識させる学習効果が考えられ、また白黒の配分や使い方による明暗の理解により、立体表現の糸口になることと考える。

画材に対しては、彫刻等に十分馴染んでいないため、刃物調整が上手くいくように刃物の持ち手の傾き方によって彫った深さや広さの違いを指導し、線の切れ、丁寧な彫りなどの作業を落ち着いて粘り強く進めなければならない事に留意させる事が必要になる。

#### ①教材に関わる工夫

- ・彫刻刀の刃物調整が上手くいくように刃物の持ち手の傾き方によって彫った深さや広さの違いを指導し、線の切れ、丁寧な彫りなど特性と彫り方の工夫によって表現効果が得られることを作品例で示す。

#### ②言語活動の工夫

- ・グループ活動では、自分の作品について今考えて工夫していること、イメージする完成作品について発言させる。

### ③生徒の課題に関わる工夫

- ・先輩の作品例を示し作品作りを身近に感じさせ、完成のイメージを持たせることでどの生徒にも自主的に課題に取り組ませる。
- ・「C評価」の生徒については、個人思考の際に机間指導をし、墨入れでの明暗の仕方を助言する。

## 5 題材の目標と評価規準

### 題材の目標

- 木版画表現の特徴である白黒表現を形や明暗比較による効果を理解し表現する。
- 背景をイメージし表現方法を工夫して構想することができる。
- 他の生徒の作品から工夫などを味わい感じ取ることができる。

### 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
①対象の見方、感じ方を深める気持ちを大切にす。	①画面を構成する上での明暗の対比が美しくいきいきと表す表現の構想をする。	①表現意図に応じた基礎的技能を身に付けている。	①他の生徒の作品から工夫などを味わい感じ取ることができる。

## 6 指導と評価の計画

全12時間（本時は3/12）

次	学習内容（時数）	評 価					
		関	構	技	鑑	評 価 規 準	評価方法
1	版画について説明（1）	○				・対象の見方、感じ方を深める気持ちを大切にす。	行動観察
2	版画下絵のアイデアスケッチ（1）	○				・対象の見方、感じ方を深める気持ちを大切にす。	行動観察
3	版画の下絵と墨入れ（1） 本時		◎		○	・画面を構成する上での明暗の対比が美しくいきいきと表す表現の構想をする。 ・他の生徒の作品から工夫などを味わい感じ取ることができる。	行動観察 作品
4	版画の墨入れ（2）		◎		○	・画面を構成する上での明暗の対比が美しくいきいきと表す表現の構想をする。 ・表現意図に応じた基礎的技能を身に付けている。	行動観察 作品
5	版画の彫り（5）			○		・表現意図に応じた基礎的技能を身に付けている。	行動観察 作品

6	版画の摺り (1)			○	・表現意図に応じた基礎的技能を身に付けている。	行動観察 作品
7	作品鑑賞 (1)			○	・他の生徒の工夫などを味わい感じ取ることができる。	行動観察 感想文

## 7 本時の展開

### (1) 本時の目標

木版画を理解して表現し、見方や感じ方を深める。

### (2) 観点別評価規準・判断基準

◎画面を構成する上での明暗の対比が美しくいきいきと表す表現の構想をする。

○他の生徒の作品から工夫などを味わい感じ取ることができる。

評価方法      ・作品      ・ワークシート

### (3) 準備物

・筆記用具      ・デザインセット      ・版画作品のための資料

### (4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項及び評価 (■) (努力を要する生徒への指導の手立て◆)
導入	<p>1 墨入れの目的や方法を確認する</p> <p><b>習得確認</b></p> <p>○墨入れの目的は何かを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒い線は彫らないところで、黒で描いていない部分、白い線で描いた部分は彫るところであることを示すことを確認する。</li> </ul> <p>○本時の目標を確認する。</p> <p>木版画を理解して明るい部分を白色で線描表現することができる。</p>	<p>◆墨入れの目的は、画面を構成する上での明暗の対比を美しくいきいきと表すことをおさえる。</p>

展 開	<p>2 自分の墨入れした作品について紹介する原稿を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">個人思考</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">自己決定</div> <p>○墨入れした作品の、構図の説明と明暗表現の工夫について確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想される生徒の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を表現するのに画面いっぱいに顔を描いた。</li> <li>・背景に自分の気に入っている情景を描きこんだ。</li> <li>・明暗の工夫を墨の線の量で表現を試みた。</li> </ul> </div> <p>3 グループで確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">集団思考</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">共感的人間関係</div> <p>○墨入れした作品を班で見せ合い、工夫したところを交流する。</p> <p>4 全体で交流する</p> <p>○各班のなかで各1点を全体の中で発表し交流する。</p> <p>○個人やグループ内で明暗の変化ができていなかった部分は確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒の線の密度を利用して明暗の変化が可能になることを確認する。</li> <li>・白と黒の割合を工夫するためには形が画面に多くあるほうが容易であることを確認する。</li> </ul> <p>5 墨入れをする</p> <p>○他の作品を参考に墨入れをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面相筆で、ポスターカラーの白と黒を使って明暗をつける。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">【言語活動】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">書く活動</div> <p>○資料を参考にあるものをそのまま利用して背景を描くなど各自準備した資料の活用の仕方を言葉で表す。</p> <p>◆机間指導をし、物をできるだけ多く描くなど書くべき内容を示して支援する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【言語活動】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">話す活動</div> <p>○墨入れ作品の明暗や構成の工夫を、ワークシートを利用して発表させる。</p> <p>■他の生徒の作品から工夫などを味わい感じ取ることができる。（観察）</p> <p>○明暗表現の工夫をさせる。</p> <p>■画面を構成する上での明暗の対比が美しくいきいきと表す表現の構想をする。（観察）</p> <p>◆机間指導をし・彫りを念頭に入れ、黒い線が重ならないことと、白い線はいくら重なってもいいことを確認するなど、個への支援をする。</p>
	ま と め	<p>6 本時のまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業をふり返り、ファイルにまとめを書く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[生徒のまとめ例]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい部分を、白色を使って線描で工夫し表現できた。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片づけ</li> </ul>

・作品に必要な資料を考え、次時に持ってくる。

○家庭で資料を探すことで、より身の周りの美への感じ方を深めることをめざす。

## 8 板書計画

### 【本時の目標】

木版画を理解して表現し、見方や感じ方を深めることができる。

### 【内容】

- ・自分の作品について紹介する。
- ・木版画の墨入れをする。

## 版画の墨入れ

年	組	名	前
---	---	---	---

①自分の作品について、どういう場面を描いたか紹介しよう。

---

---

---

---

---

---

---

---

②背景をどう描くのか説明しよう。

---

---

---

---

---

---

---

---

③明暗を表現するための工夫を説明しよう。

---

---

---

---

---

---

---

---